



[古い布に魅せられて](#)



[古い布に魅せられて](#)

11月2日から12月3日(日)まで、島田市博物館分館で「古い布に魅せられて」と題した展示会が開催されると知り、文化の日の祭日出掛けてみました。この日は古布でくるみボタンを作れたり、ジャズライブ等の催しもあります。  
展示会場は、明治時代の旧家を利用した趣のある日本家屋です。



[古い布に魅せられて](#)



[古い布に魅せられて](#)

入ると多彩な柄が見事な藍染や、江戸時代の高い位の人のものであろう美しい羽織が目に飛び込んできます。



[古い布に魅せられて](#)



[古い布に魅せられて](#)

奥の部屋まで行ってみると、何人もの方がたくさんの端切れ布からお気に入りのくるみボタンを作っていました。「もう終わりの時間が近いので幾つでもどうぞ」との計らいに、私も小さな物を幾つか作らせて頂きました。



[古い布に魅せられて](#)

これらの古布を収集した土田道子さんは、パッチワークキルトをきっかけに、日本だけでなくインドやフランスの古い布に魅せられ、30年近くも集めて来られたそうです。



[古い布に](#)

貴重な古い着物の数々・・・



[古い布に魅せられて](#)



[古い布に魅せられて](#)



[古い布に魅せられて](#)



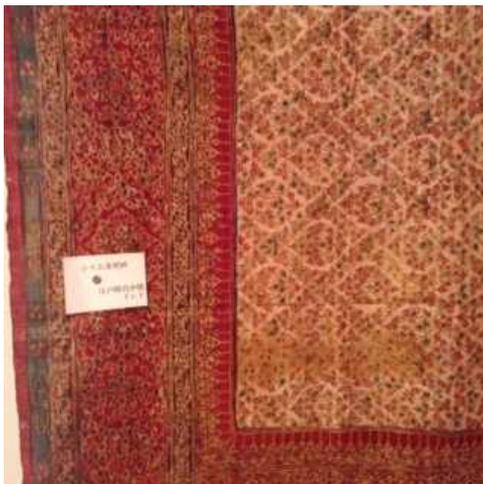
古い布に魅せられて



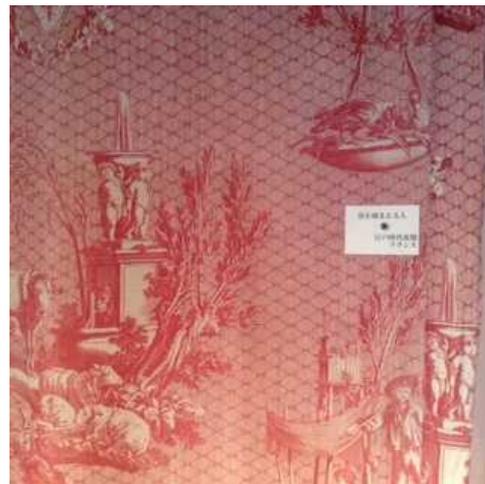
古い布に魅せられて

2階には土田さんの手掛けたパッチワークキルトの大作が飾られています。

木綿が庶民に広がり始めた江戸末期、布を織るために綿や麻が栽培され、人々の手で織られた貴重な布は、宝物の様に引き継がれながら、現在も愛でられているのです。日本の布は、晴れ着から普段着へ、そして子供の物や仕事着に、傷めば継ぎ接ぎされ、弱くなれば刺し子を施し、裂き織りやおむつにもされ、最後まで捨てることなく使われてきたと言います。そんな貴重な当時の布が時を経て土田さんの手に渡り、貴重な故にはさみを入れられなくなり、コレクションになっていったのだそうです。



古い布に魅せられて



古い布に魅せられて



古い布に魅せられて



古い布に魅せられて

(左上) 当時の最高峰の技を感じられる江戸時代中期のインドシャム金更紗 (右上) 江戸時代後期の美しい図柄のフランスの製品 (右下) 江戸時代後期のオランダ更紗を集めた額



[古い布に魅せられて](#)



[古い布に魅せられて](#)

この日だけのイベントで、島田や県内で活動されているミュージシャンのジャズライブも楽しみました。この中庭を挟んで海野光弘版画記念館などもあります。又すぐそばに建つ本館では、11月26日まで「女戦国大名 寿桂尼と今川氏」と題した特別展も開かれていますので、このゾーンを巡るだけで芸術や歴史に触れる秋の一日が楽しめますよ。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江